

こうた 議会だより

148号

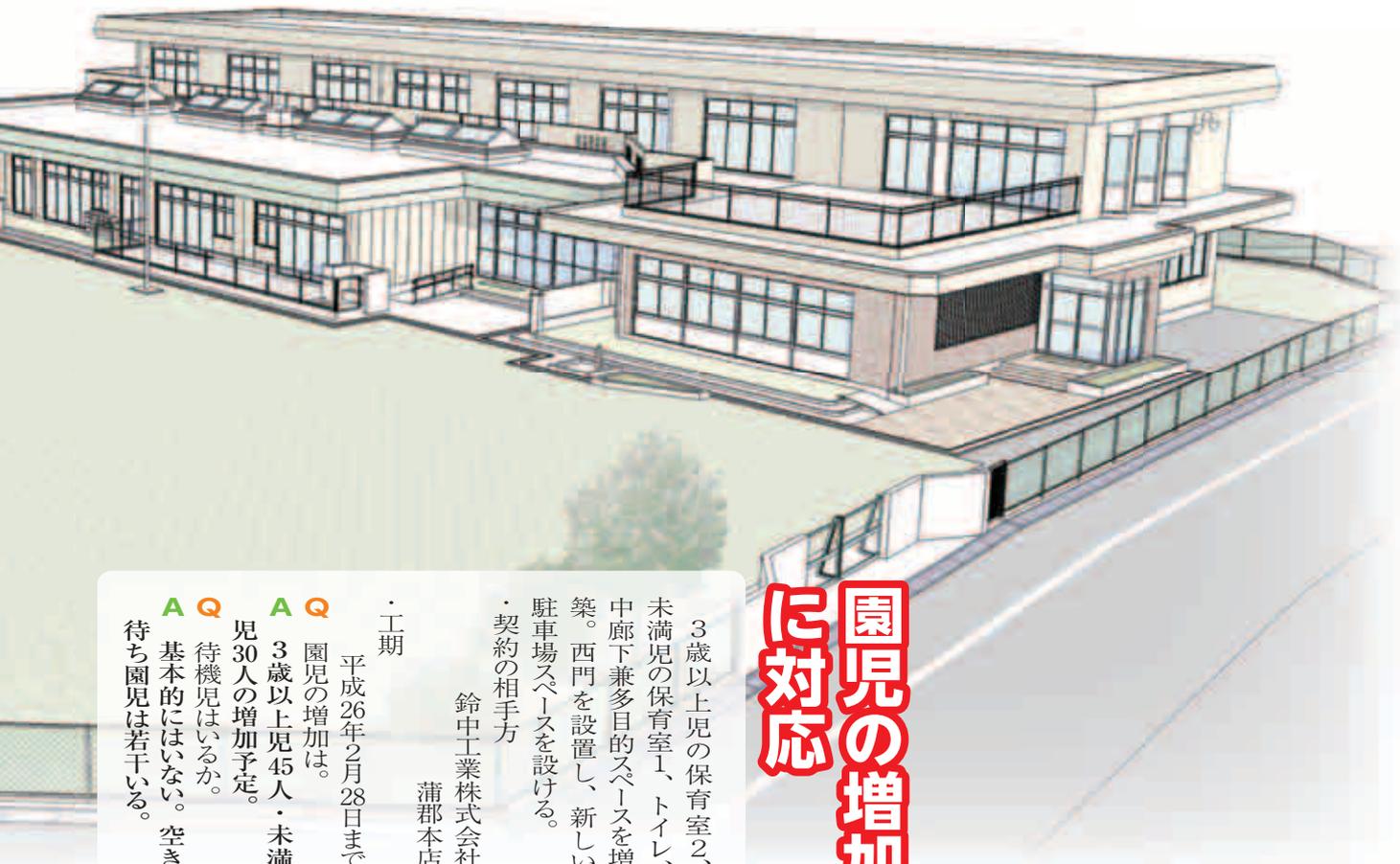
2013.4.25 発行
愛知県幸田町議会

特集

- 住民の声を聞く パート8 22
- 「ふは親子ふれあいの場」
- わした保育園増築・大規模改修 2
- 安全安心を最優先2年連続緊縮型 4
- 食物アレルギー対応の給食を
など10人が一般質問 8
- 追跡 あの答弁はどうなったの 20
- あい・らぶ・マイタウン
「水がきれいな幸田町」 「元気と笑顔の町 幸田」 24

おかあさんとお買物
幸田駅前銀座・海辺百貨店

大規模改修はじまる



園児の増加 に対応

3歳以上児の保育室2、未満児の保育室1、トイレ、中廊下兼多目的スペースを増築。西門を設置し、新しい駐車場スペースを設ける。

・契約の相手方

鈴木工業株式会社

・工期

平成26年2月28日まで

・園児の増加は

A 3歳以上児45人・未満児30人の増加予定。

Q 待機児はいるか。

A 基本的にはいない。空き待ち園児は若干いる。

3月

定例会の

あらまし

3月定例会は、3月1日から25日までの25日間の会期で開催しました。

初日には、町長が新年度予算の概要と施政方針「健全性を重視し、持続可能な住みよいまちを目指して」と、町政の基本的な考えを表明。

平成25年度の9会計の当初予算をはじめ、平成24年

度の補正予算、条例の部改正、わしだ保育園増築・大規模改修工事の請負契約など19件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。平成25年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、すべて可決しました。

一般質問では、10人の議員が町政全般の問題をたどりました。

町長 施政方針

我が国の経済は、欧州の債務危機や近隣諸国との摩擦などの影響により、先行き不透明な状況にあります。本町においても、税収全体では若干の回復を見込みましたが、回復段階に至っていないのが現状であります。このような状況の下、第5次幸田町総合計画の検証をおこないつつ、

わしだ保育園増築・大規模改修事業、高規格救急車更新事業、坂崎小・幸田中学校大規模改修事業、住民サービス向上のため役場庁舎1階フロアの改修など、新事業に取り組んでまいります。また、計画的な社会基盤の整備や住民サービスの向上を図りながら、事業仕分けなど行政改革にも取り組み、健全性を重視し、持続可能な財政運営に努めてまいります。

リニューアル

わしだ保育園増築

1億2810万円で契約

議案審議

葬儀用祭壇の貸し付けが廃止に

昭和38年からはじまり多くの住民が利用してきたが、住民意識の変化により利用者が減少したことで廃止。

Q 利用状況は。

A 昭和40年から50年代は9割の利用であったが、平成24年度は3件に激減。

Q 祭壇の活用は。

A 3基のうち1基は新斎場へ、2基は検討中。

Q 社会福祉協議会で事業を受け継ぐ考えは。

A 検討する。
(反対2賛成13で可決)

職員給与引き下げ

国の支給基準との均衡を



図るため、職員の住居手当の廃止、勤勉手当基礎額から扶養手当を削除する。

Q 対象人数は。

A 住居手当100人。扶養手当157人である。

Q 扶養手当の削減で1人あたりの減額は。

A 最大6万2000円、最小9000円である。
(反対2賛成13で可決)

Q 総合計画策定の条例を制定

法的義務が撤廃されたこととで町独自に制定。

Q 審議会メンバーの見通し

A 平成25年度に総合計画の評価をし、検討する。

Q 総合計画の期間は。

A どの期間が良いか今後考えていく。
(全員賛成で可決)

平成24年度最終補正予算

会計年度も終わりに近づき、予算の追加や調整など一般会計、特別会計あわせて7議案が上程された。

国の緊急経済対策として「地域の元気臨時交付金」を活用し、わしだ保育園増築・大規模改修、幸田中学校大規模改修など5事業2億5450万円を繰越明許※とした。

※繰越明許とは翌年度に繰り越して使用することができる経費。

一般会計補正予算
4332万円増額

歳入の主なもの

地域の元気臨時交付金

6026万円

公共駐車場使用料

1800万円減額

歳出の主なもの

道路新設改良事業

3250万円

幸田中学校地震補強・大規模改修

4626万円

相見駅周辺開発整備

2720万円減額

防災行政無線デジタル化

7400万円減額

(全員賛成で可決)

特別会計補正予算

農業集落排水事業

300万円

下水道事業

2280万円減額

幸田駅前土地区画整理事業

(物件移転補償金など)

2億4365万円

(全員賛成で可決)



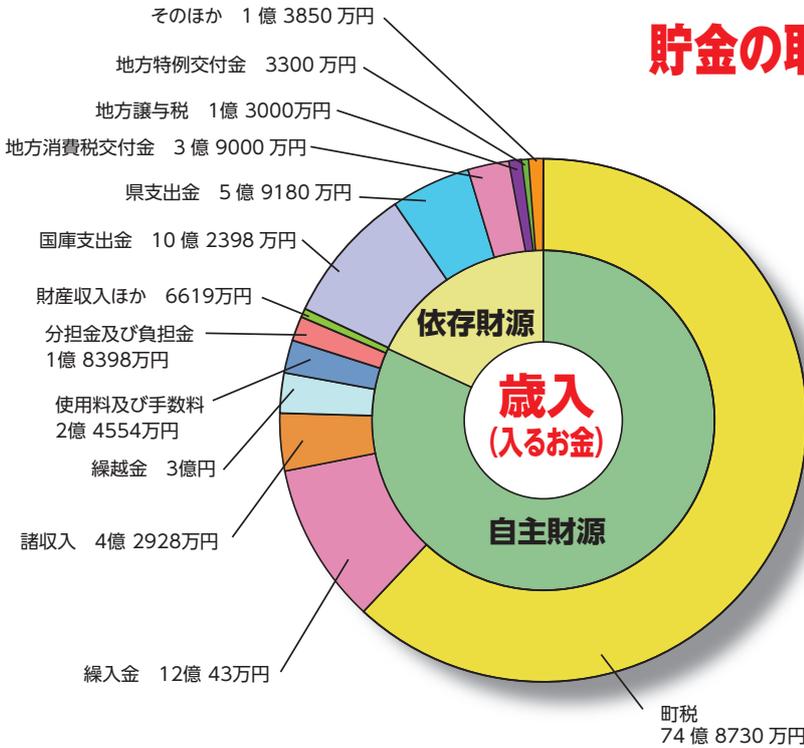
幸田駅前銀座

2年連続緊縮型

町債発行ゼロ(借金をしない)

貯金の取り崩し(11億4000万円)

自主財源 99億1272万円
依存財源 23億 728万円



町の歳入には、個人町民税・法人町民税・固定資産税・たばこ税の町税や繰入金などの自主財源(この割合が高いほど財政が安定)と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入である依存財源があります。

新年度予算の自主財源は歳入総額の81%を占めており、国からの地方交付税を受けない「不交付団体」(29年連続)を見込んでいます。また町債発行をゼロ(新たな借金をしない)としました。

当初予算

総額 192億8647万円

平 成25年度当初予算規模は一般会計と、7つの特別会計ならびに企業会計合わせて総額192億8647万円(対前年度比5.4%減)です。

健 全性を重視し、持続可能な住みよいまちをめざし、2年連続の緊縮型で「安全を最優先に、幸せを実感できるまちの予算」です。

借 金に当たる町債発行をゼロとし、歳出に見合う財源を確保するため財政調整基金(貯金)から11億4000万円を繰り入れしての予算編成となりました。

町 税の総額は、74億8730万円(前年度比6.6%増)で、その内訳は、個人町民税は、所得の増で22億6700万円(同7.1%増)とし、法人町民税は、若干の増を見込み、6億200万円(同33.3%増)となりました。

歳 出の主なものは、坂崎小学校の大规模改造、総合窓口設置、高規格救急車整備、道路新設改良事業、3地区の土地区画整理事業など。
特 別会計の主なものは、永野ポンプ場更新工事やライフライン機能強化工事などです。

反対

丸山千代子 議員

町民を応援する町政を

町税収は、回復基調で引き続き不交付団体と見込まれたが、住民税年少扶養控除廃止や子ども手当減額など住民負担増の要因もある。

祭壇貸付廃止や待機児がありながら働く町民の保育要望にこたえていない。格差社会の拡大、働く貧困層の増大で、町民の暮らしは厳しい。

町民を応援する町政をすすめるべきではないか。

反対

伊藤宗次 議員

財政厳しい強調は

町民萎縮さす

財政は厳しい、暮らし支援せず、役立つ事業は削減し、廃止する一方で、町長答弁で、区切りにする事業仕分けは取り組む。

保育園児英語遊びなどパフォーマンスは、町民の目を曇らせる。

大企業に適正課税適用で1億円の財源確保を。

幸田駅南駐輪場に雨よけ設置を。借地解消に本腰を入れた取り組みを。

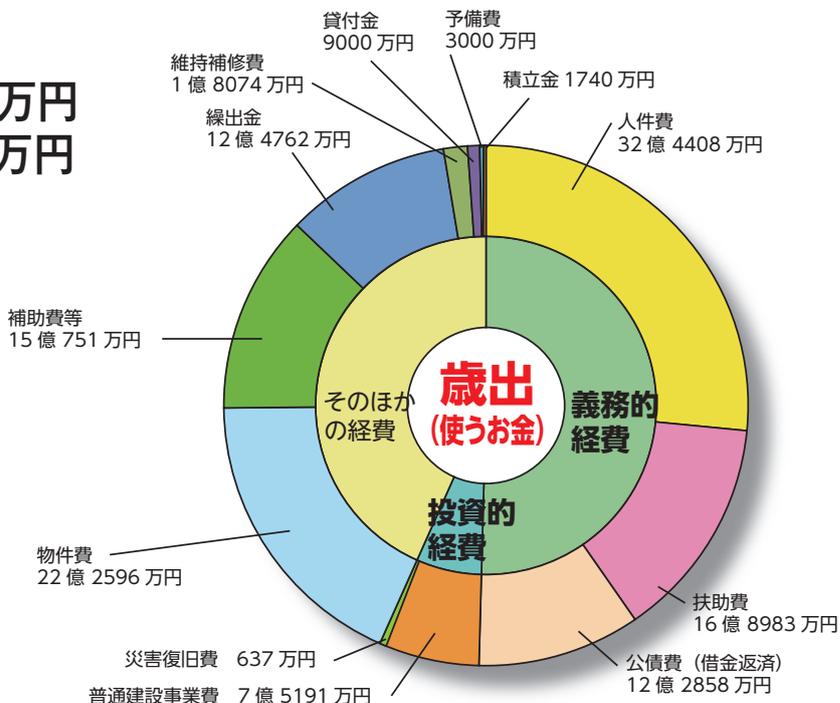
論



安全・安心を最優先

一般会計 122億2000万円を可決

義務的経費 61億6249万円
 投資的経費 7億5828万円



歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費など経常的に歳出が義務づけられ、任意に削減することができない義務的経費（この割合が小さいほど財政にゆとりがある）と、普通建設事業や災害復旧などの投資的経費があります。

新年度予算の義務的経費は、前年度比1億9383万円の増額。
 投資的経費は、1億2893万円の減額です。

各会計別の当初予算額と採決状況 (▲は減)

会計区分	予算額	前年度比 (%)	採決の状況
一般会計	122億2000万円	▲7.5	反対2:賛成13で可決
特別会計			
土地取得	4481万円	▲15.1	全員賛成で可決
国民健康保険	30億3113万円	0.9	反対2:賛成13で可決
後期高齢者医療	2億6813万円	▲3.9	反対2:賛成13で可決
介護保険	13億9702万円	3.4	反対2:賛成13で可決
幸田駅前土地区画整理事業	1億8715万円	▲64.5	全員賛成で可決
農業集落排水事業	3億8251万円	3.3	反対2:賛成13で可決
下水道事業	7億91万円	14.1	反対2:賛成13で可決
水道事業			
収益的支出	6億7950万円	1.0	反対2:賛成13で可決
資本的支出	3億7531万円	25.8	反対2:賛成13で可決
合計	192億8647万円	▲5.4	



おさいふの中身は

賛成

杉浦あきら 議員

安全最優先で幸せ実感

箱物行政を抑え、身近な事業を重視した予算である。

生活基盤整備として、防犯カメラの設置、農商工業活性化支援の継続、保育園、学校への投資事業などをおこない経済効果を期待できる。

役場1階フロア改修により一般町民に対し、もれなく、やさしい窓口と言われるような予算配分である。

賛成

中根秋男 議員

町の自立、産業の安定と発展

企業立地推進に向けての取り組み、新規借入れなしの予算である。

個別事業では、①防災対策は、学校の耐震工事継続、ため池耐震調査。

②子ども医療費無料化の継続。

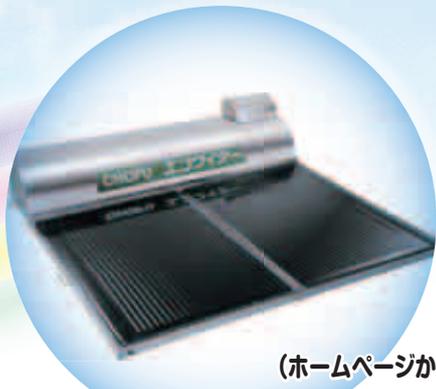
③地区の土地区画整理事業の推進。

④生活道路の舗装、側溝整備。

積極的な財源確保、持続可能な住みよい町づくり予算である。



実感できるまちに



(ホームページから)

太陽熱利用システム設置補助
45万円



5月7日
オープン

役場1階 総合窓口設置
3000万円



公共トイレ改修
3216万円



防犯カメラ設置工事
449万円



町を守る (里保育園)



予算特別委員会

Q & A

2日間にわたり集中審議

行政改革

総合窓口設置

Q どう変わるのか。

A フロアーマネージャーを配置し、1カ所で手続きや用事が済むワンストップサービスの導入。

ホームページのバナー広告

Q 収入と今後の見込みは。

A 50万円を見込む。ネーミングライツも行革の中で検討していく。事業仕分け

Q 新年度の計画は。

A 3回目を8月に計画。一応の区切りと考える。

子どもの安全・安心

保育園・小学校改修工事

Q 新年度の安全事業の目玉は。

A わしだ保育園の改修と坂崎小学校の大規模改造。

子育て支援事業

Q 保育園英語あそびモデル事業とは。

A 年長児が6回／年程度「外国人が遊びに来た」感覚で英語に触れ合う。

子育てニーズ調査

Q 対象と調査時期は。

A 5歳児までの保護者に12月末までに実施する。

くらし直結事業

幸せを



高齢者肺炎球菌予防接種
450万円

岩堀
六栗
里



区画整理事業助成
7200万円



—新年度 廃止される事業—
・葬儀用祭壇貸付事業
・住宅資金利子補給制度
(新規申し込みから中止)
・チャイルドシート貸出事業



保育園英語あそびモデル
121万円



大規模改造
幸田中学校・坂崎小学校
9500万円



(ホームページから)
耐震シェルター補助
120万円



ぼくたちが

A 住宅の屋根に20件分。

Q 太陽熱利用システム設置支援の内容は。

新エネルギー・環境対策

A 三ヶ根駅東口や大井池など5カ所を予定。

Q トイレの改修計画は。

安全で快適な都市環境

快適生活・環境

A 遅くとも9月頃まで。

Q 通知の時期は。

A 75歳以上、5000円を負担する。

高齢者肺炎球菌予防接種

住民の健康

Q 対象と個人負担は。

A 補助金額は、30万円を限度に補助。

耐震シェルター設置補助

Q 補助の内容と金額は。

A 自力での避難が困難で低耐震性の木造家屋の方。

Q 設置場所と台数、時期は。

A J R 3 駅に設置工事。

防犯カメラの設置事業

くらしの安全

まちづくりの考えは？

問 食物アレルギー対応の給食を

答 引き続き研究・検討する



丸山 千代子 議員

問 食物アレルギーで給食後に死亡する事故がおり、深刻さがあらためて注目された。アナフィラキシー※をおこすと命にかかわり、変調が出た場合45分以内に治療を受けるタイムリミットがある。現状は。

答 **【教育部長】** 保護者から医師による学校生活管理指導表が提出されており、エピペン※を保健室で管理し、職員全体で情報を共有している。

問 食物アレルギーを持つ子どもの安全管理と医療体制づくり、エピペンの研修を。

答 アレルギー疾患に対し

ては、発見者および養護教諭がガイドラインに示されている手順によって必要な連絡や処置をおこなう。

問 弁当持参ではなく、食物アレルギー対応室の増築で、除去食、代替食の実施を。

答 **【教育部長】** アレルギー対応の除去食・代替食の実施には引き続き研究・検討をする。
※アナフィラキシーとは特定の起因物質により生じた全身性のアレルギー反応。



給食当番（豊坂小学校）

問 地産地消のさらなる推進で、どの子どもにも安全でおいしい給食の提供を。

問 孤立防止対策の支援体制づくり

答 ライフライン事業者と連携協議

問 高齢化がすすむなかで誰にも看取られることなく、息を引き取り、相当放置されるような悲惨な孤独死の事例や報道が相次いでいる。孤独死に対する不安の声もあり、孤立防止対策の強化が求め

られる。

答 **【健康福祉部長】** 孤独死の統計はとっていないが、今年度は3人が看取らずに亡くなっている。

問 見守り活動の現状と支援体制づくりを。

答 民生委員、ふれあい給食、老人クラブの訪問活動や隣近所も見守り活動になる。緊急通報装置も、ひとり暮らしの高齢者69人に貸し出している。

今後は、郵便や新聞配達も含めてネットワーク的な見守り体制の必要がある。

問 電気・ガス・水道・郵便などのライフライン事業者との連携で対策を。

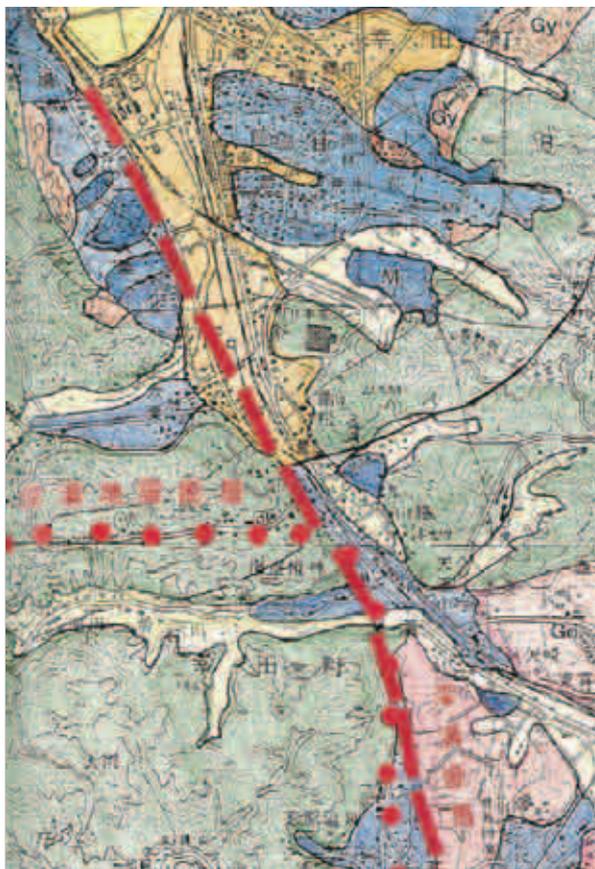
答 ライフライン事業者との連携は、県の取り組みを見ながら考えていく。



中根 久治 議員

問 推定活断層はどこにある

答 正確な認定は難しい



愛知県活断層アトラスより

問 町内に2本の深溝断層がある。この断層ルートを正しく把握することが防災と都市計画で大切である。推定活断層とされる深溝断層について問う。

答 断層ルートは諸説あるが、どれが正しいか。

問 断層ルートを諸説あるが、どれが正しいか。

答 総務部長 専門家によっても見解がわかるような状態で、正確な認定は難しい。

問 県と町の断層ルートの違いの見解は。

答 調査した専門家の判断であり、どれが正しいという判断は町ではできない。

問 推定活断層上の住宅の利用制限指導は。

答 建設部長 推定活断層上への規制は特に無く、指導も現在おこなっていない。

問 宅地造成の規制基準は、改正された法律の情報を周知しながら、耐震への適正な建築の指導をおこなう。

問 断層近傍はどこか。

答 総務部長 拾石川沿い及び北部水田地域である。

問 地表で変化を観察できるものが深溝地震断層。県指定の天然記念物としての価値の一方で活断層としての危険性もある。この断層を問う。

問 断層への案内板は再設置できるか。

問 深溝地震断層は動くか

答 現段階では想定していない

用語解説
深溝断層は、深溝地内からJR沿いに南北に伸びる推定活断層。
深溝地震断層は、昭和20年の三河地震で実際に動く可能性を否定できない断層として注視されている。

問 置できるか。

答 教育部長 現在、地元と調整中である。

問 断層ルートをどのよう
に知らせているか。

答 総務部長 郷土資料館とホームページで揭示している。

問 東海地震の誘発地震として動かか。

答 現段階では想定ができていない。

問 深溝小学校は避難所として適切か。

答 耐震補強などは実施済だが、災害時は何が起こるか分からない。近隣の施設を活用するなど弾力的な運用を考えていく。

大嶽 弘 議員



問 運動場の整備点検を

答 マニュアルをつくる



少年サッカー(中央公園)

「健康の町」宣言で町民の体力づくりが推進されている。スポーツ施設の維持管理などを問う。

問 社会体育施設利用者数の推移は。

答 **教育部長** 過去3年間
は横ばいの傾向。

問 使用料値上げによる影響は。

答 平成23年度から勤労者体育センター、大日蔭グラウンド・ゴルフ場の値上げと学校体育施設のス
ポーツ開放事業が有料化。
影響はなかったと判断。

問 小中学校サッカークラブの現状と今後の拡大は。

答 小学校は4校だが、中学校は設置なし。
クラブ活動や部活動の
種目選定は、各学校の裁
量で決定。

問 運動場の見回り点検はいつ誰がおこなっているか。

答 側溝に滞留した土砂の片づけなど今後の対策は。
職員が月1回、目視で
点検している。

問 全施設を巡回しマニュアルをつくる。
とほね・坂崎運動場のベンチを照らす街路灯か
防犯灯の設置はできないか。

答 **教育部長** ナイター利
用は午後6時点灯が基本
だが、今後検討する。

問 ケーブルTV
対談方式の広報

答 出前講座を
充実する方向で

住民目線の分かりやすい
行政が求められている。
厳しい財政状況と言わ
れているが、町税の見通
しは。

答 **総務部長** 平成25年度
は、74億8730万円。
平成26年度、27年度は年
2%の増額見込み。

問 基金(預金)・公債費
比率(借金返済割合)の
現状認識は。

答 一般会計の10分の1は
必要で、約30億円がよい。

公債費比率は平成23年
度が10.4%で、県内
ワースト5位である。

問 町の人件費割合が高い
理由と今後の対応は。

答 事務の増加で減らせな
い。人件費の抑制は、今
後の課題。

問 町民からの意見収集方
法と採用事例は。

答 町政モニター制度、住
民意識調査、声のポスト
など。

問 採用事例は、深溝
の防犯灯設置や横断歩道
の停止線など。

答 **総務部長** 出前講座の
充実の方向で検討。
予算・決算の広報を
ケーブルテレビで放送
(対談方式)することは
どうか。



中根 秋男 議員

問 公共施設の老朽化耐震対策を

答 修繕計画に基づき対処する



新田橋

問 安全・安心のまちづくりをするには、道路や橋、公共施設などインフラの老朽化、耐震対策が必要である。各地区の公共施設（公民館、コミュニティホールなど）の維持管理、修繕は。

答 **総務部長** 行政区の申請に基づき補助金を交付している。

問 児童館の維持管理、修繕は。

答 **参事** 町が管理しており、常駐職員が日常点検している。

問 町内の橋梁の中15m以上で50年以上経過した橋梁が5橋あり維持管理、修繕は。

答 **建設部長** 補修を要するのは8橋ある。今後10年の計画で長寿命化をめざす。

問 新田橋の剥離、鉄筋露出対策は。

答 新橋梁の計画があり、完成すれば除去する。

問 ライフラインで、特に重要な水道管の耐震化と老朽化対策は。

答 **環境経済部長** 災害時

問 投票率が全国的にも、年々低下している状況のため投票しやすい環境づくりが必要と考える。

問 現状の掲示板の数と設置場所の変更、見直しは。

答 **総務部長** 72カ所に設置し、場所は実状に合わせて見直している。

問 掲示板設置費用は。

答 1カ所当たり約1万2000円となる。

問 大型店舗、銀行など不

問 投票率向上のための施策は

答 啓発活動に努める

対策として給水拠点となる学校などを優先して整備している。

問 下水道管の維持管理、老朽化対策は。

答 **建設部長** テレビカメラによる調査をしている。

特定多数の目につく所に設置する考えは。

答 場所の制約と混乱などを慎重に判断したい。

問 本町には9つの投票区が設置されているが、増設する考えは。

答 人口の増加や変動の状況を見ながら判断する。

問 期日前投票所の増設の考えは。増設すると経費は。

答 運営経費がかさむため啓発活動のほうに力を入れたい。1カ所増設で約130万円必要である。

問 投票率アップに、町内の企業や大型店舗での啓発の考えは。

答 自由な投票の意思を妨げないことが基本姿勢である。

問 教育分野との連携は。

答 選挙の出前講座などは積極的に取り組む。



鈴木 雅史 議員

問 第6次幸田町総合計画は

答 詳細は今後検討

問 第6次幸田町総合計画は、平成28年からの幸田町の大きな方針を決める大事な計画である。日本は平成22年をピークとして人口の減少に転じている。このような中で、幸田町が各方面にわたりバランスのとれた、より住みやすい町にするために現在進行中の第5次総合計画の達成状況と課題の整備をどのようにおこなうのか。

答 **総務部長** 各種施策は、実施計画、決算べースにより達成状況を確認する。また、住民意識調査などを参考にしながら分析していく。

問 総合計画策定にあたり各種委員会などの設置をどのように考えているのか。

答 町長の諮問機関である

総合計画審議会。副町長を長とする総合計画策定委員会、その下部組織としての幹事会がある。詳細は、今後検討していく。

問 都市計画マスタープランなどとの関連はどのように図るのか。

答 整合性を図った内容になるよう策定していく。

問 人口減少社会に対応する施策は

答 区画整理による人口増加

問 今後、日本は人口の減少社会に入ったと言われる

ています。ただ、人口の減少は一律ではない。交通アクセスの問題、働き場所の問題などいろいろある。こうした中で、誰でも住んで良かったと実感できる幸田町をつくるための方策。将来の人口予測をどのように考えているか。

答 **総務部長** 第5次総合計画で、平成27年度におおむね4万人の想定のもと、5万人規模を展望したまちづくりをすすめてきた。平成31年に事業完了する区画整理の計画人口を加えると4万2365人ほどで、人口は徐々に増加に転じる。

問 既存集落内に空き家、空き地が多く見られる。こうした集落内の空き地は電気・水道・下水道などのインフラも整備され

公共費用もかからない。この問題をどう考えているのか。

答 空き家・空き地は、個人財産であり自治体は踏

み込めない。所有者には、火災予防

条例や安全・安心なまちづくり条例の中で指導している。



あいみ通り



水野 千代子 議員

問 通学路の合同総点検の継続を

答 3課連携しすすめる



安全に登校を（菅田交差点付近）

通学路の安全を確保するため、文科省・国交省・警察庁の3省庁合同緊急総点検がおこなわれ危険個所の抽出、対策が示された。

本町の対応を問う。

いつ・どんな手順、体制ですすめたか。

【教育部長】 毎年4月に各小学校と教育委員会合同で、登下校時に確認。

【問】 安全対策が必要な危険個所数と内容は、

22カ所、交通量が増えた、歩道がない、道路の横断など。

【問】 対策済個所数と今後の計画は。

【建設部長】 改善30項目のうち、対策済は21項目。信号機の新設3カ所と横断歩道などの設置2カ所の整備は未定。

【問】 地域で認識を共有するため対策内容など公表されているが対応は。

【答】 小学校6校に対策一覧表と対策個所図を配布。

【問】 通学路の合同総点検の継続を。

【答】 今後も教育委員会を主体に3課連携しすすめる。

【問】 自治体に助言をする「通学路安全対策アドバイザー」が創設される。本町には。

【答】 西三河に2人が配置される予定で、前向きに取り組む。

問 宣誓書のダウンロード化

答 参議院選挙からすすめたい

【問】 平成15年12月、選挙公示告示の翌日から選挙期日前日まで投票できる期日前投票制度が設けられ利用は広まっている。

【答】 期日前投票率の推移は、

【総務部長】 先般の衆議院議員選挙以外は、いずれも向上している。

【問】 当日は宣誓書の記入が

衆議院選挙		
平成 17年	平成 21年	平成 24年
18.99%	26.13%	25.54%
参議院選挙		
平成 16年	平成 19年	平成 22年
18.99%	23.65%	24.69%
町長選挙		
平成 18年	平成 22年	
11.04%	17.49%	

期日前投票の推移

【問】 必要となるが「高齢者は緊張して書けない」との声や、時間短縮のために宣誓書のダウンロード化を。

【答】 選挙管理委員会で協議し、参議院選挙から取り扱いてできるように考える。

【問】 期日前投票立会人の研修とネームの表示を。

【答】 選任通知に職務を記載。選挙当日の投票開始前に、業務と注意点を説明。代筆者のネームプレートは、研究する。

【問】 若者世代に政治や選挙に関心をもってもらうため、期日前投票立会人の公募を。

【答】 短期間の対応となり、慎重に検討したい。



伊藤 宗次 議員

問 太陽光発電で財源確保を提案

答 さらに研究をすすめる

問 昨年9月議会で新電力導入を提起し、16施設に導入、年間219万円の電気料金削減。さらなる導入施設拡大を。

答 **〔総務部長〕** 導入できるものは取り組んでいく。県の基金事業を活用した検討もすすめている。

問 太陽光発電パネル設置の検討結果は。案ずるより生が易しである。

答 自前とリースで見積りしたが赤字になるという結果がでた。もっと面積を確保する必要がある。

問 公共施設の有効利用で太陽光発電→売電で財源確保を。

答 さらに研究をすすめていく。

問 企業などに屋根貸し太陽光発電でなく、住民共有の財産で自前発電し活用すべきだ。



保健センターの太陽光発電

答 避難所への設置など、災害対策に対応していくのを基本としたい。

問 地域に降り注ぐ熱エネルギーを住民に還元する地域協働発電を支援し、自然エネルギーの振興、地産地消の取り組みを。

答 地域と行政が取り組むことは、今後さらに検討していく。

問 区画整理区域の土地課税減免を

答 今までの方向を貫いていく

問 岩堀、里、六栗の区画

整理事業区域をなせ、12月24日クリスマスまでの日に市街化編入なのか。

答 **〔建設部長〕** 愛知県の都市計画審議会が11月に開催され、国の同意を得て決定したため。

問 市街化編入で土地評価額、課税額を農地、宅地別、3地区別に負担増の実態は。

答 岩堀地区121万円が731万円、6倍、里地区274万円が772万円、2.8倍、六栗地区137万円が848万円、6.2倍。

問 新たに都市計画税の課税で、その負担は70〜90倍も負担増になる。

答 3地区で430万円。3地区別に使用収益権

問 設定の時期はいつか。
答 工事が完成すると開始になる。

問 3地区別の事業完了予定はいつか。

答 3地区とも約5年。使用収益権設定まで固定資産税、都市計画税の減免を。

問 **〔総務部長〕** 市街化区域の農地は、評価額の3分の1が課税標準になり調整措置がとられている。

問 減免規定に、町長特認事項を。
答 **〔町長〕** この地域だけ変更するわけにはいかない。

問 法を生かすも殺すも政治次第だ。
答 今までの方向を貫いていきたい。



杉浦 あきら 議員

問 ステーションの効果的な運用は

答 現状の職員数と勤務時間で対応



今日も地域を見守る

問 安全、安心なまちづくりをするために、地域安全ステーションの役割を問う。

答 本町のステーション設立の経緯は、交通安全対策と防犯対策の強化を図る拠点として整備した。

問 職員が1人減ったために、青色回転灯を回してのパトロールが減少したのでは。

答 開業時間とパトロール時間は若干是正している。

問 安全、防犯講話の回数。

答 安全、防犯講話の回数は、全保育園を対象に8回、小中学校は12回、高齢者は年11回実施。

問 刑法犯罪が減っているが、どのような活動で減っているのか。

答 防犯ボランティア団体の増加、防犯力の高い住宅や事業所の普及、防犯意識の向上と考える。

問 町内の防犯組織の活動内容を把握しているか。

答 子どもの見守り、青色

問 事故の多い6地点の改善策を問う。

問 岡田病院から南に下がってきた最初の交差点。

答 〔総務部長〕 交差点とカーブの路面表示、一時停止の大型標識を設置した。

問 ケーヨーD2としまむらの間の交差点。

答 〔建設部長〕 信号機の設置を要望している。

問 ジョイプラザ前のガンリンスタンドとコンビニ

問 ラウンドアバウト交差点を

答 課題も多く時間がかかる

回転灯パトロール、ネットワーク会議など実施。

問 地域安全ステーションの最大限の効果を出すための人員と勤務時間。

答 現状の職員数と勤務時間で対応する。

の交差点。

答 県道で整備済み。

問 芦谷蒲郡線と国道248号の交差点の北の信号の東の交差点。

答 〔総務部長〕 「通学路のためスピード落せ」の看板を設置した。

問 永野公園の南の信号交差点に信号機無しで節電・省エネとなるラウンドアバウト方式※対応ができないか。

答 〔建設部長〕 土木学会は災害時の停電も機能する方式として意見を出した。国交省も急発進を抑え、CO₂排出量の低減につながるのと調査をはじめた。

問 本町の交差点には課題も多く時間がかかる。

問 三ヶ根駅近くの深溝上天白交差点。

答 〔総務部長〕 注意看板を設置した。

※ラウンドアバウト方式とは交差点の中央に島をつくり、その周辺を車が一方通行で回る方式。



志賀 恒男 議員

問 東海道線の仲田ガードに歩道を

答 構造的に難しい 現状で

六栗の市街化区域に、商業施設の誘致計画がある。周辺道路の整備が必要。

問 芦谷地区から自転車や歩いて買い物する人のために、仲田ガードに歩道の設置を。

答 **建設部長** 県道、JR、新幹線が交差するため、構造的に難しい。現状でお願いしたい。

問 県道安城蒲郡線の上六栗信号交差点から、六栗方面200m区間は歩道がなく、危険。早急に整備を。

答 地元・地権者の承諾を得て、事業主体の愛知県に強く要望し事業化に努めたい。

問 上六栗の火神社前から県道までの広田川左岸堤防を舗装し、エコロードとして整備を。



仲田ガード

んで緑道として位置づけられている。県河川の堤防であり協議を要するが、事業の進展に合わせ検討する。

問 渋滞が予想される六栗信号交差点に、仲田ガード方面への右折レーンの

設置を。

答 区画整理組合と事業者との間で費用負担を検討し、右折帯を設け出入り承認工事をおこなうのが方法である。交通量を円滑に処理できるように対応する。

問 都市計画税の用途の周知を

答 広報・ホームページで公表

市街地に家を持つ人は、都市計画税を納めている。

問 北部市街地と深溝は、公園不足地域である。公園整備の推進状況は。

答 **建設部長** 近隣公園として配置計画しているが、調整区域で開発がすすんでいない。市街化になり人口増加が見込まれると事業をする計画。

問 六栗の一般廃棄物最終処分場にある公園予定地の供用開始は。

答 **環境経済部長** 環境整備の一環として公園整備することにしたが、財政事情もあり整備に至っていない。

問 都市計画税を徴収する市町の半分は、税率上限の0.3%。現在の0.2%を引き上げる考えは。

答 **総務部長** 現状では0.2%を維持していくことが適当。

問 都市計画税の用途は、議会や納税者に説明・周知が求められている。今までの説明経緯は。

答 総務省からの通知もあり、平成22年度の決算から成果説明書に記載を始め、今後もしっかりとした使途の表示に努める。

問 納税者への説明や周知の方法は。

答 広報・ホームページで公表し理解を求めていく。



都築 一三 議員

問 太陽光発電で人口増を

答 総合計画に基づきすすめる

- 原発への依存から脱却するため、太陽光発電など自然エネルギーの普及で、自然豊かな町をPRして人口増をめざす考えを問う。
- 問** きれいな魅力ある町づくりで人口増を図る施策は。
- 答** **総務部長** 総合計画に基づき、緑豊かな住宅団地の形成を誘導している。
- 問** 「えこたん」は幸田の顔か。
- 答** 環境と都市交通のキャラクターとして誕生したが、町おこしにも利用している。
- 問** 太陽光発電システムの目標と実績は。
- 答** **環境経済部長** 目標の設定はしていないが、予算の執行率は、ほぼ100%である。
- 問** 太陽光発電システムの補助金の増額を。
- 答** 予算は本年度並とするが大勢の方の利用を計るために1キロワット単価を3万円から2万円に改め、太陽熱利用にも補助をする。



自然エネルギーでエコ

問 企業誘致の進捗状況は

答 マスタープラン策定中

- 全国の市町村が、企業誘致をすすめる中、幸田町企業立地課の頑張り值得期待する。
- 問** 現在の進捗状況はどのようなになっているのか。
- 答** **総務部長** 企業立地マスタープランを策定し、企業立地ビジョンを示す計画が進行中。

- 問** 企業の誘致方法は。
- 答** 企業立地課による企業訪問と情報交換。
- 問** 企業立地に有利な交通アクセス名浜道路のめどはどうか。
- 答** 中部国際空港と三河地域を結ぶアクセス道路として期待している。
- 問** 名浜道路の今後の計画は。
- 答** 国に対して周辺自治体と早期実現に向けて働きかける。
- 問** プレステージレクチャーズ講演会の意図とメリットは何か。
- 答** 日本のトップ企業からの講演により参加者が幅広い視野を持ち、将来を考える機会にしたい。
- 町長** 企業立地のために、多くの方に幸田町を知ってもらったためもある。

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

総合窓口を

設置

2月15日 協議会開催

利用者に、もれなくやさしい「ワンストップサービス窓口」の設置。

Q ワンストップとは。

A 担当職員が連携することで利用者の窓口移動をなくす。

Q フロアーマネージャーの内容は。

A 職員がら人体制で、きめ細かいサービスの提供。

防犯活動の計画

各地区で防犯パトロールや青色回転灯車巡回など、防犯意識が高まっている。

Q 犯罪発生状況は。

A 刑法犯や窃盗犯の件数は減少している。

Q 地域パトロール隊の現状と活動に補助金を。

A 12団体600人、青パト車26台。設立時に補助はするが、あくまでもボランティア活動としてお願いしている。



コノハけいぶ（県警のマスコット）

新たに

太陽熱システムに補助

産業建設

2月14日 協議会開催

地球温暖化防止の一環として、住宅用太陽光発電システムを対象にした補助制度を平成17年度に創設。

平成24年度から、燃料電池システムも補助対象に追加した。

平成25年度から、新たに太陽熱システムを追加する。

Q 制度の充実の内容は。

A 住民の多くが利用できるように、補助単価の見直しや新しく太陽熱システムを補助対象に加える。

災害廃棄物の処理協定

大規模災害が発生した際に、町内で生じたがれきや生活ごみの撤去、収集、運搬分別および処理に関する協定を、愛知県産業廃棄物協会と結ぶ。

Q どのような団体か。

A 県下の産業廃棄物処理許可業者で構成する一般社団法人。

Q 大規模災害で、本町だけでなく広範囲に被害が及んだらどうか。

A 被害範囲などの状況により、県外処理もある。



太陽熱温水器（菱池地内）

深溝松平家 御廟所の国指定

文教福祉



深溝松平家墓所の視察

2月7日 協議会開催

深溝松平家御廟所は、7月に具申、10月答申、そして1月の告示で、いよいよ国指定史跡となることが濃厚となった。

Q 県ではなく国指定に格上げしたねらいは。

A 国からの強い打診があった。

Q 松平家との確認内容は、出土した宝物は松平家の所有物となる。

A 宝物の見学はできるが、町としてレプリカを用意する。

Q 指定までの諸費は、町が負担する。

新電力導入で経費削減

4月1日から16施設で電力料金削減を目的に新電力から電気を調達する。施設ごとに基本料金は異なるが、中央公民館では80円、坂崎運動場で400円ほど削減される。

Q 入札の状況は。

A 5業者の競争見積りにより、(株)F・POWERとなった。

防災対策

備蓄倉庫の扉

いつ誰が開ける

2月6日 協議会開催

町地域防災計画修正、活断層を知る会・講演会、町総合防災訓練を協議。

Q 災害時支援拠点に、とぼねグラウンドがあるが、不動ヶ池は大丈夫か。

A 利用の場合、池の安全確認をする。

Q 避難所の備蓄倉庫の扉は、いつ、誰が開ける。

A 町全域被災が対象で、町が開ける。

Q 9月5日、総合防災訓練実施だが、自主防災会教育委員会の位置づけが低い。

A 計画に明記したい。

特別委員会レポート



幸田駅前銀座のイベント

総合開発

駅前銀座全店オープンに向けて

2月5日 協議会開催

幸田駅前土地区画整理事業の概要を協議。

Q 当初予算52億円が、43億円に圧縮した理由は。

A 平成17年時点で補償費を概算で算定していた。見直して2割下がった。平成30年に完成予定。

Q 駅前銀座の空き店舗の状況は。

A 6店舗入店に向けて努力。開発地区内の町有地の活用は。

A 駅前の活性化の一翼を担ってくれる企業に売却する。

一般質問 追跡

あの答弁は
どうなったの



バナー広告

その後
afterward

an Answer

question

平成24年4月からホームページに、企業のバナー広告の掲載を開始し、現在4社と契約済み。

ホームページや封筒の Sponsor 探しなど努力。

行政改革の推進が求められている。「儲ける」新たな検討状況は。

「儲ける」新たな 歳入の検討を

- 平成21年3月定例会
酒向 弘康議員
- 平成22年6月定例会
水野千代子議員
- 平成23年6月定例会
志賀 恒男議員

その後
afterward

an Answer

question

子ども部が新設される。
なお、平成25年度から住民こども部が新設される。

取り扱っ。
義務教育前の手続きを一括して

平成24年4月の組織改革で、
幼保一体化を見据え、児童課をこども課に変更。

組織改革の中で検討中。

スムーズな対応を求め、子ども関係は一つの窓口で対応する「こども課」の新設を。

「こども課」の 新設を

- 平成22年12月定例会
水野千代子議員
- 平成23年6月定例会
中根 久治議員



こども課窓口

視察来町 10市町・88人



H24. 4. 19	滋賀県彦根市	10人
H24. 4. 26	三重県いなべ市	7人
H24. 7. 23	熊本県玉名市	9人
H24. 8. 1	鹿児島県始良市	9人
H24. 8. 7	福岡県遠賀町	7人
H24. 10. 23	長野県軽井沢町	7人
H24. 11. 7	山梨県町村議会議長会	17人
H24. 11. 14	大分県国東市	10人
H25. 1. 18	静岡県長泉町	8人
H25. 2. 13	長野県伊那市	4人

こうた 議会だより

平成24年4月発行の「議会だより144号」が第27回町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞しました。4年連続で8回目の入賞となりました。
今後もしっかりと努力していきます。

全国コンクール 奨励賞



議員研修会

議会改革は住民の福祉の増進

平成25年1月22日、幸田町議会は、「議会改革の現状とポイント」をテーマに財団法人地域開発研究所牧瀬稔氏を講師に、議員研修会を開催しました。



熱の入った研修会

- ① 議会改革とは何か
 - ② こんな議会改革はある？
 - ③ 議会基本条例とは何か
 - ④ ユニーク条例の紹介
- の4項目を中心にした講義を受けました。
- 地方自治法に規定された議会の役割として、執行機関の監視機能と、政策を立案する2つの機能が求められているが、ほとんどの議会は、政策立案能力は低く監視機能も弱い傾向であることが明らかにされました。



牧瀬稔 講師

議員提案 政策条例の実現

議会改革の最終的な目的は、「住民の福祉の増進」という観点から考えることであり、そのなかで、議会としてできることは「議員提案政策条例」の実現であると結ばれました。

他自治体の事例を参照するのではなく、幸田町の地域性や空間的な特徴などを考えた取り組みをすることだという提起をうけ、議会の責任の重大さを感じます。予定時間を超過する熱の入った研修となりました。

中間報告

議会改革に向けて

議会運営委員会

平成23年6月の議会運営委員会において、議会改革をどう進めていくかと議論を開始した。

平成24年3月から議会議録を町ホームページに掲載、町議会委員会条例を一部改正し、6月から委員会の会議を公開してきた。

各議員はそれぞれ、島根県松江市、兵庫県播磨町、鹿児島県いちき串木野市など視察研究。

県内の日進市、知立市の議会報告会に参加し調査。開かれた議会にするにはどういう形が良いか、何ができるかなど、委員会でも数回にわたり議論・調査を重ねてきた。

牧瀬稔氏による議員研修会も開催した。

「議会報告会」の開催を決定

議会に関する基本的な事項を定める議会基本条例の制定は、「条例ありきではなく、議会の活動状況など住民に知ってもらうことが先」との意見から時期尚早とした。

平成25年2月19日、議員が地域に向き、定例会で審議された内容などを直接住民に説明する「議会報告会」を開催することを決定した。

今後、開催時期や報告内容など詳細は決めていく。



知立市の議会報告会

ふれあいの場 人々を見守る



デンソー幸田の桜姫（経済産業大臣賞）

参加風が、さらに増え、地域のまとまりが拡がると皆の笑顔と地域の



**こうた凧揚げまつり実行委員会
土屋善也会長の話**

今回は、町の三大まつりのひとつ「こうた凧揚げまつり」の実行委員会会長土屋善也さんと日本の凧の会、三州幸田の凧の会 会長杉浦忠幸さんからご意見をいただきました。

町の凧揚げ起源

最初は昭和51年
昭和40年代に地元の子どもたちが正月に凧を揚げて楽しんでいた。
これを見て役場が支援に乗り出した。
昭和51年に新春凧揚げ大会を開催し、手づくり凧で

議会への期待は 町政の無駄をチェック

競い合った。翌年から大凧・中凧・小凧の部で顕彰をおこなうこととした。
現在の「まつり」になってから今年の1月で16回目となった。

今年の参加は、全国凧の会から55基、町内の大凧では、21基となった。
観客は、1万5000人であった。

凧の面白さ・夢

みんなの笑顔
地区と企業が一体となり、大凧が大空いっぱい泳ぐこと。今年は、

活性化となると考える。

実行委員会の仕事

まつり事業がメイン
年間8回の委員会を開催し、まつりの準備や協賛金集めなどに苦労している。
現在の会長職は、ライフサークル会長が兼務している。

ライフサークル活動は、「夏まつり」にも関与し、町おこしに張り切っている。

議会だよりの感想

議員の活動状況に興味
議員の活動状況を興味を持って読んでいます。紙面はカラーで、きれいにできています。地域の情報や身近な事業などを掲載してほしい。
行政に期待することは、「いつまでも虫の見える環境の町」を期待している。

こうた凧揚げまつり
実行委員会の皆さんの
ご意見



議会に期待すること

- 地域との懇談会。
- 町政の無駄を切るチェック機能。
- 町民の要望をいかに町政に生かすか、町のいいなりではなく、議会の意見を。の参加。
- 凧揚げへの議員さんチームの参加。

行政に望むこと

- 税金の有効利用、活用。
- 町民の声を反映し、生きがいを感じる予算執行を。
- マンネリ化行事の改善、工夫を。



住民の 声 を聞く

パート 8

凧は親子 上空で静止し



※石川県の内灘で開催されている世界凧の祭典では、三州須美の凧が平成21年に2回目のグランプリを受賞した。

県外での活動

富士山との調和

町おこし支援では、静岡県朝霧アリーナで開催される「たこたこあがれin富士山」に伝統凧保存会として参加している。16畳の三州凧は、多くのカヌエマンの注目の的になっている。富士山を背景に上空で静止する姿は美しい。

人々の悩みを引き受け天空から応援していると感じる。

伝統の継承

前年並みは意識の低下

幸田の凧は、浜松の凧師の指導を受けて成長してきた。

現在の会員は28人である。

「前年並みでよい」という考えは必ず意識が低下していく。来年は、写真コンテストを考えている。

会長の夢

幸田のブランド凧

凧には、伝統凧と創作凧がある。幸田町固有の創作ブランド凧ができれば、地域おこしや町の活性化に貢

三州幸田の凧の会 三州須美凧の会 杉浦忠幸会長の話



凧の使命

凧は幸福を導く。凧師は、凧に命を吹き込む。上空に揚る大凧は、「こ

日本の凧の会

全国で技術交流

日本の凧の会の本部は東京。全国に80の支部がある。愛知県では、名古屋・尾張一宮と幸田の3支部がある。青森から九州まで全国各

「こにいるよ」と存在感を示し、うなり声を発して答えてくる。

凧揚げは、祖先が残した伝統の文化財、幼いころに帰り、親子ふれあいの場を作ってくれる。

地で交流し、お互いの技術の向上を図っている。

各地の前夜祭が、伝統の継承に寄与している。



献できると考えている。

議会だよりの感想

個性のある記事を

興味のあるところを読んでいる。写真が多く紙面は明るくきれいだ。

専門用語は分かりにくい。町の広報誌とは違う個性のある記事を期待している。

○本稿の編集にご協力いただきお礼申し上げます。

写真募集中

議会だよりの表紙写真を募集しています。テーマは季節感と暮らしの中の笑顔が溢れているもの。



(詳細は、議会事務局まで)
TEL:63-5151

幸田小学校6年

池田 素さん



豊坂小学校6年

稲吉 優友くん



水がきれいな幸田町

わたしの住んでいる幸田町は水がきれいだなと思います。そう思う理由は、二つあります。

一つ目は、川にいっぱい魚がいるからです。わたしの家の近くに川があるので、よく遊びに行きます。そこには、よしのぼりやメダカなどの魚がたくさんいます。みんなどんな魚がいるか探す

のがとても楽しいです。

二つ目は、毎年5月ごろになるとホタルが飛んでいるからです。ホタルは、水のきれいなところにしかいないと聞いたことがありました。幸田町の川には、飛んでいるところが沢山あります。なので幸田町は水がきれいだと思いました。このきれいな幸田町の

水を汚さないように、わたしも気をつけたいです。



元気と笑顔の町 幸田

ぼくは、大人になったら耳鼻科の医者になりたいと思います。

ぼくは、耳の病気になるりやすく、花粉に弱いので、鼻水がよく出ます。その時、いつも耳鼻科で見てもらいます。ぼくが通っている病院には、たくさんのかん者さんが来ます。でも、ぼくが行くと先生は、検査をしなくて

も、何がいけないのかだいたい分かっています。そういうところがすごいなと思います。

ぼくは、できたら幸田町の耳鼻科の医者になりたいです。そして、ぼくと同じように花粉しようでこまっている人をたすけてあげたいです。そして、幸田町をもっと元気で、笑顔あふれる町にし

ていきたいと思います。



絵：牧野次男さん（芦谷）

あなたも議会を傍聴してみませんか

6月定例会の予定です。

- 会期の日程
 - 6月5日(水) 開会、議案の説明
 - 7日(金) 一般質問
 - 10日(月) //
 - 13日(木) 議案の質疑
 - 14日(金) //
 - 17日(月) 文教福祉委員会
 - 18日(火) 産業建設委員会
 - 20日(木) 総務委員会
 - 24日(月) 議会運営委員会
 - 26日(水) 討論、採決、閉会
- 場所 役場5階 議場
- 時間 午前9時から
- 詳しくは議会事務局へ
TEL 0564-63-5151 (直通)

編集後記

小型デジタルカメラの普及により撮影した画像をパソコンで自由に活用できるなど大変便利になりました。反面自由に削除できず、無駄な写真まで撮影し、雑な気持ちで養ってしまう危険性もあります。

「撮影は瞬時記録は生を肝に銘じ、より良い紙面づくり」に頑張りたいと考えています。次回から編集委員が変更となります。新たな感覚による充実した紙面を祈念しています。今後ともご愛読のほどお願い申し上げます。天獄 弘

議会広報特別委員会

委員長	大獄 弘
副委員長	丸山千代子
委員	水野千代子
酒向 弘康	都築 一三
中根 久治	志賀 恒男
議長	池田 久男

発行責任者

池田 久男

